

「箱根関所ガイド養成講習会」

箱根関所の完全復元・公開にあたって、観覧者に建物のごとくや関所のエピソードなどの解説ができる人材を養成する講習会です。

日時・場所
①2月19日(月) 10時～15時 箱根関所上番休息所(講義)、大番所、足軽番所ほか(施設解説)
②3月12日(月) 10時～15時 箱根関所、箱根神社、元箱根石仏・石塔群ほか(散策)

講師 町教育委員会学芸員、箱根神社職員、環境省ボランティア解説員

対象 箱根関所や周辺史跡などに関心があり、ガイドとなることを希望する方

定員 20人(先着順)

申込方法 電話でお申し込みください。

「地球市民フェスタ2007」は、小田原市や近隣市町で活動している国際交流関係団体で組織された実行委員会が、小田原市とともに国際交流イベントです。楽しい雰囲気の中で外国籍の方々とふれあい、共に生きる仲間として理解しあうことを目的に毎年開催しています。

テーマは、「文化いろいろ、地球は一つ」。

楽しい歌や踊りの舞台、さまざまな世界の味の模擬店、国際交流団体の活動発表やバザー、外国籍の方とのふれあいコーナー、青年海外協力隊員の体験談など、盛りだくさんの催し物で、皆さんのご来場をお待ちしています。

日時 2月18日(日) 10時～16時

場所 小田原市川東タウンセンター・マロニエ(小田原市中心273-6)

照会先 地球市民フェスタ実行委員会事務局(小田原市文化交流課)
☎0465-33-1703

窓口相談チェックシートが新しくなりました!

土地利用計画課では、建築や開発の相談、都市計画などに関する調査をするために窓口に来られた方に「窓口相談チェックシート」を使って都市計画用途や規制概要、その他手続きについての説明を総合的に行っています。今回、問い合わせが多かった項目などを追加し、より分かりやすいチェックシートを作成しました。

新しくなったチェックシートについては、町ホームページからもダウンロードできます。

なお、窓口では、関連する規制などの概要について説明しますが、詳細については必ず関連省庁に相談してください。

新しくなったチェックシートについては、町ホームページからもダウンロードできます。

なお、窓口では、関連する規制などの概要について説明しますが、詳細については必ず関連省庁に相談してください。

チェックシートに記載されている主なチェック事項(内容)

- 都市計画区域・用途地域 ○防火関係
 - 自然公園法 ○特別用途地区
 - 開発関係(箱根町開発事業指導要綱など)
 - インフラ関係(道路、排水、水道など)
 - その他(土地取引、埋蔵文化財包蔵地、建築協定など) ○各種許認可事務の流れ
- 照会先 土地利用計画課 ☎5-9566

いよいよ25日(日)から「8」がつきます!

市外局番0460地域(箱根町、静岡県裾野市茶畑の一部)の市内局番が、2月25日(日)午前2時から2桁に変更となります。今回の変更については、箱根地域などにおいて新たに電話などを提供する通信事業者からの参入要望に対し、市内局番に不足が生じてしまう恐れがあることから、総務省の調整により、現在の市内局番を2桁に増やし、使用可能な市内局番を増やすことを目的に実施されるものです。

番号変更方法は、市内局番の頭に8が加わります。

0460-8△-□□□□(変更後)

印刷物の番号変更やIT機器の設定変更などが必要になりますので、お早めに検討や準備をお願いします。

照会先 NTT東日本神奈川総合コンタクトセンター
フリーダイヤル0120-829300 営業時間 9時～21時
土・日曜日・祝日も営業

この局番変更のため、2月23日(金)から26日(月)まで携帯電話からの119番通報が、いったん小田原市消防本部に接続されてから、町消防本部に転送されますのでご承知おきください。

まちかどレポート 第20回 箱根の鉄道のお話

昨年7月に福島県の「相馬野馬追い」の見学に行ってきた。JRを利用しての旅でしたが、何と夕方だというのに電車は2時間に1本・・・つくづく箱根の電車のありがたみを痛感した旅でした。そこで今回は、昔々の箱根の鉄道のお話をレポートします。

明治政府は交通網確立の必要性から、まず東京～大阪間の鉄道開業を急いでいました。当初

国土防衛などの見地から中仙道沿いを計画していましたが、資金や技術面などの関係で頓挫し、東海道沿いに計画を変更しました。小田原箱根の経済人たちは箱根越えのルートを強く陳情しましたが、これが技術面の問題により却下されてしまいました。そして、現在の御殿場線ルートが決定されました。

明治20年当時の箱根老舗旅館の主人たちは鉄道が来ない危機感から、「鉄道なくして箱根の発展無し」と、短期間のうちに「小田原馬車鉄道」を設立しました。当時まだ全国で2例しかなかった馬車鉄道を使って、国府津～箱根湯本間の計画を立ち上げました。

しかし、完成後も馬方の嫌がらせや馬の病気などでなかなか黒字にはならず、経営は困窮していました。そんな折、現在の湯本吉池旅館がある場所で、国産水力発電としては国内最初の発電が成功します。これにより最先端の電気鉄道移行へと流れは止まらず、難問を乗り越え明治33年に全面電化となります。

そして一気に箱根が東京の奥座敷として脚光を浴びる観光時代



小田原馬車鉄道湯本駅(「箱根彩景」より)

湯本富士屋ホテル下に残る軌道敷跡

軌道は小田原から早川左岸(現在の国道側)箱根バイパス入口の所で右岸に渡り、早川沿

「まちかどレポーター」を募集します!

行事の撮影・記事の執筆などを行う「まちかどレポーター」を募集します。私たちと一緒に「広報はこね」を作ってみませんか。

■対象
町内在住の20歳以上(平成19年4月1日現在)の方でカメラ(デジタルカメラでも可)を所有している方。ただし、国、地方公共団体の議会の議員または国、地方公共団体の職員は除きます。

■活動内容
①行事の撮影・記事の執筆など
②レポーター会議への出席(年1、2回)
③町が主催する研修会への参加

■任期
平成19年4月1日から平成21年3月31日まで(2年間)

■募集人員
4人以内(応募者多数の場合は、居住地域や男女構成などを考慮の上、選考)

■報酬
報酬はありませんので、ボランティアとしてご協力をお願いします。なお、取材時の旅費やフィルムは支給します。

■応募方法
2月16日(金)までに住所、氏名、年齢、電話番号、応募の動機を記入のうえ、はがき、FAXまたは電子メールで応募してください。

■申込・照会先
〒250-0398 箱根町企画課
☎5-9572 FAX 5-7577
E-mail: web_kikakuka@town.hakone.kanagawa.jp



このコーナーは、レポーター独自の取材や研究などにより作られています。

まちかどレポーター
田中康久



の幕開けとなりました。当時の箱根湯本駅周辺(現在の河鹿荘周辺)には人力車200台、郵便局や駐在所、土産店などが次々に開業しました。また、当時では珍しいハイヤーやレンタカーまでもが営業を開始しました。

その後、大正8年に現在の登山鉄道へと進むのですが、これから先はまたいつか・・・